

重点課題2 男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進

施策の方向 (1) 子どもへの男女共同参画教育の推進

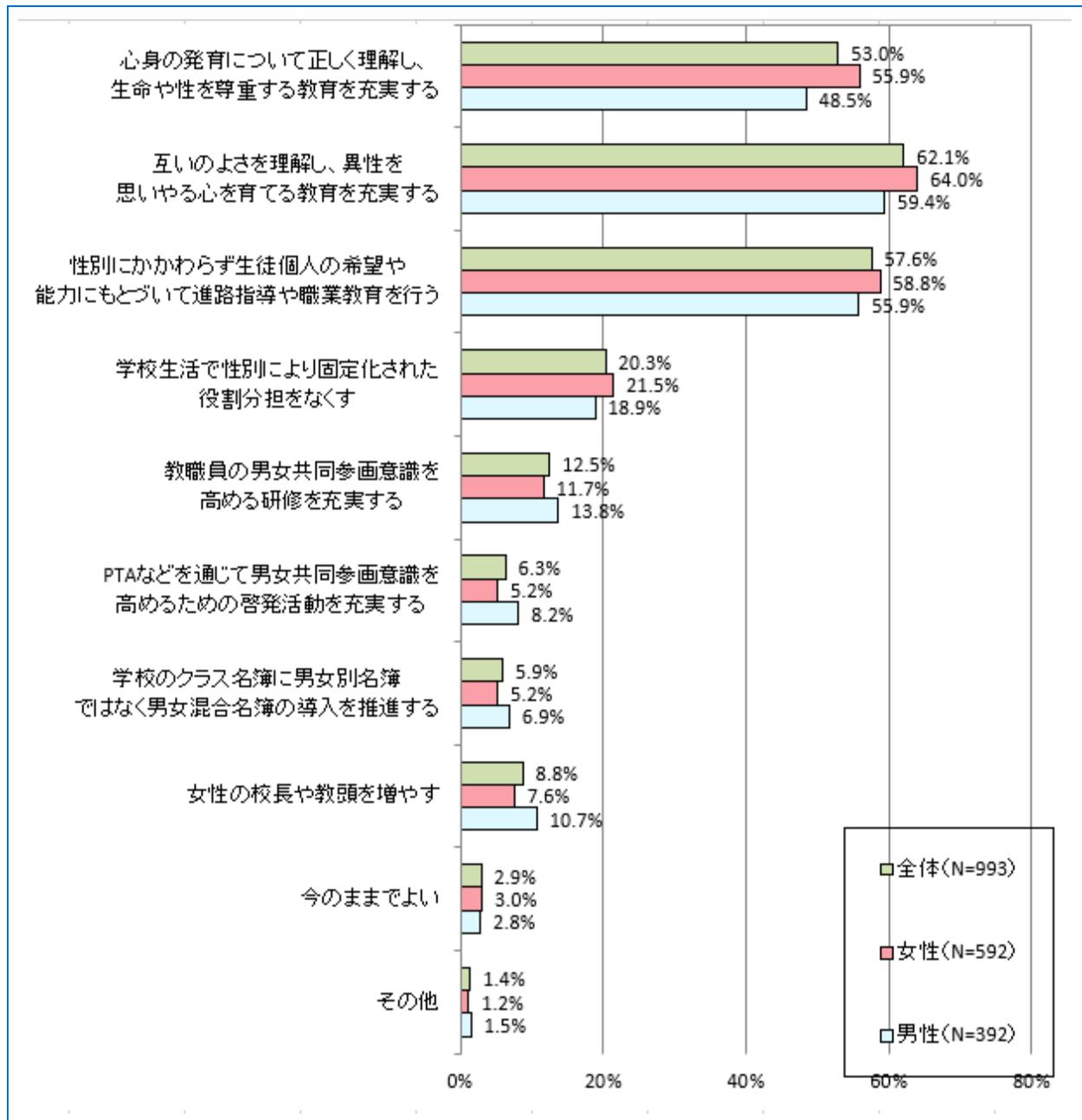
施策の方向 (2) 多様な選択を可能にする教育・能力開発・学習機会の充実

1 統計情報等

(1) 男女共同参画を実現するために学校教育の場で必要なこと

市民意識調査によると、男女共同参画を実現するために学校教育の場で必要なこととして、「互いのよさを理解し、異性を思いやる心を育てる教育を実現する」(62.1%)が最も多く、次いで「性別にかかわらず生徒個人の希望や能力にもとづいて進路指導や職業教育を行う」(57.6%)となっている。

男女共同参画を実現するために学校教育の場で必要なこと(全体・性別)



(令和3年度霧島市男女共同参画に関する市民意識調査)
(N=993【男性392 女性592 性別未記入9】)

2 事業実施状況

施策の方向（1）子どもへの男女共同参画教育の推進

具体的施策① 子どもへの意識啓発

男女共同参画の視点	子どもの頃から男女とも一人ひとりが自立と思いやりの意識を育み、人権の尊重と男女平等や男女相互の理解と協力の重要性について、学習の充実を図る必要がある。																											
主な取組	<p>① 子どもへの男女共同参画教室を開催している。（市民課）</p> <p>(1) これまでの開催実績</p> <table border="1" data-bbox="416 640 1038 786"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>3回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>141人</td> <td>125名</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和4年度実績</p> <table border="1" data-bbox="416 887 1385 1245"> <thead> <tr> <th>開催場所</th> <th>題目</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童クラブ コスモス</td> <td>こねこのしろちゃん（大型紙芝居）</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>小野児童クラブ</td> <td>しげちゃん（大型絵本）</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>国分西児童クラブ</td> <td>やさしいおおかみ（DVD鑑賞）</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td>放課後児童クラブ豊夢創家 ～トム・ソーヤ～</td> <td>ワングリの平和の木（絵本） ことばあそび</td> <td>46人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>125人</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	R3	R4	開催回数	3回	4回	参加人数	141人	125名	開催場所	題目	参加者数	児童クラブ コスモス	こねこのしろちゃん（大型紙芝居）	18人	小野児童クラブ	しげちゃん（大型絵本）	35人	国分西児童クラブ	やさしいおおかみ（DVD鑑賞）	26人	放課後児童クラブ豊夢創家 ～トム・ソーヤ～	ワングリの平和の木（絵本） ことばあそび	46人	合 計		125人
年 度	R3	R4																										
開催回数	3回	4回																										
参加人数	141人	125名																										
開催場所	題目	参加者数																										
児童クラブ コスモス	こねこのしろちゃん（大型紙芝居）	18人																										
小野児童クラブ	しげちゃん（大型絵本）	35人																										
国分西児童クラブ	やさしいおおかみ（DVD鑑賞）	26人																										
放課後児童クラブ豊夢創家 ～トム・ソーヤ～	ワングリの平和の木（絵本） ことばあそび	46人																										
合 計		125人																										

具体的施策② 教育関係者への意識啓発

男女共同参画の視点	<p>① 進路指導等に当たっては、児童・生徒が性別にとらわれることなく、自らの生き方を考え、将来の目的意識を持ち、本人が主体的に進路を選択する能力・態度を身に付けることができるよう配慮する必要がある。</p> <p>② ハラスメントは、対象となった人の個人としての名誉や尊厳を不当に傷つけ、人権を侵害するだけでなく、教育環境を害し、生活への深刻な影響を与える社会的に許されない行為であり、男女共同参画社会の形成を阻害する性別に起因する暴力の一形態である。</p> <p>その被害は潜在化しがちであり、個人的問題として矮小化されることもあるが、男女の固定的な役割分担、上下関係など男女が置かれている状況等に根ざした構造的な問題として把握し、対処していくことが必要である。</p> <p>③ 男女共同参画社会を実現するためには、市民一人ひとりが男女共同参画についての正しい知識や自立の意識を有することが不可欠である。このような</p>
-----------	---

	意識を涵養し、男女がともに個性と能力を発揮するために、学校、家庭、地域、職場における教育・学習の果たす役割は極めて重要である。そのため、学校教育はもとより社会教育分野等、様々な教育関係者、指導者等の男女共同参画への理解が深められる研修の充実を図る必要がある。
主な取組	<p>① 管理職研修会では「人権教育は全ての教育の基本」という重点目標のもと、職員の人権感覚の育成を目指し、人権に係る校内研修の充実や職員の日頃の言動をチェックする体制づくりなど、具体的な内容について指導した。</p> <p>霧島市小・中・高等学校人権同和教育研修会（8月実施）では、隼人人権啓発センターの山口館長を講師に招き、同和問題について考える機会を設けた。</p> <p>霧島市小・中・高等学校人権同和教育担当者研修会（11月実施）では、レインポーポート向日葵の正貴さんを講師に招き、「LGBTQ基礎講座」として性的マイノリティについて学ぶ機会を設けた。（学校教育課）</p> <p>② 校長や教頭を対象にした管理職研修会、養護教諭等を対象にした研修会などで、各学校への相談窓口職員の配置（主に教頭及び養護教諭等の男女1名ずつ）と、児童・生徒に対する相談窓口の周知について指導を行った。</p> <p>また、各種ハラスメントの防止徹底についても指導した。（教育総務課）</p> <p>③ 市内の小中学校教育関係者を対象に、出前講座（「STOP！セクハラ講座」を実施した 実績1件 （市民課）</p>

施策の方向（2）多様な選択を可能にする教育・能力開発・学習機会の充実

- 具体的施策① 男女共同参画の視点を踏まえたキャリア教育の推進と進路・就職指導の充実
 具体的施策② 生涯にわたる学習機会の充実と能力開発の促進

男女共同参画の視点	<p>① 進路指導等に当たっては、児童・生徒が性別にとらわれることなく、自らの生き方を考え、将来の目的意識を持ち、本人が主体的に進路を選択する能力・態度を身に付けることができるよう配慮する必要がある。</p> <p>② 多様化、高度化した学習需要に対応するとともに、特に、女性のエンパワメントに寄与するため、生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に活かすことができる社会の構築を目指し、学習機会の提供や社会参画の促進のための施策を充実させる必要がある。</p>
主な取組	<p>① 管理職研修会や進路指導担当者会等において、一人一人の個性を尊重しながら、進路指導を充実させるよう指導した。児童生徒が主体的な進路選択に向けて、よりよい生き方を目指していこうとする姿勢を培っていく。</p> <p>また、「キャリア・パスポート」（※）を活用することで、児童生徒が自分の取組を振り返りながら、自分の将来を築いていこうとする気持ちを育てている。（学校教育課）</p> <p>※ キャリア教育に関する個人の記録。小・中学校と継続して記録することで個人の活動の振り返りや、新たな活動の計画などに活用できる。</p>

主な取組

② 霧島しごと維新事業の「君の夢を叶える高校フェア」、「企業見学会」、「KIRISHIMA GLOBAL ACTIVITY」、「10年後の自分探し」を通じて、児童生徒一人一人が自分の個性や能力、得意なことなどを基に、自らの生き方を考え、将来の自分の姿を想像し、主体的に進路を選択しようとする意識を高めることができた。（**学校教育課**）

③ 性別に関わらず、希望のあった団体について全て受け入れを行い、職場体験の機会を提供した。（**総務課**）

【これまでの受入実績】

年 度	R3	R4
受入団体数	4団体	10団体
受入人数（うち男性：女性）	6（5：1）人	14（7：7）人

④ 霧島しごと維新で実施した「企業説明会」や「立志講話」を通して、一人一人の個性や能力、得意なことを活かして活躍している人々の姿にふれながら、生徒自身が働くことの意義を学ぶことができた。

「企業見学会」において、工業中心の事業所を訪問したコースに、興味をもって積極的に話を聞いたり、質問したりする女子生徒の姿が見られた。

（**学校教育課**）

⑤ 市民のニーズを把握しながら、ふるさとのよさを知り発見するための講座や、生活に密着した講座を開設した。（**社会教育課**）

年 度	R3	R4
講座数	8講座	7講座
受講者数	95人	93人
申込者数	143人	119人

⑥ 公民館定期講座を実施し、いつでも、どこでも、だれでも気軽に受講でき、新しい自分を発見するきっかけづくりを積極的に支援している。（**社会教育課**）

年 度	R3	R4
講座数	76講座	82講座
受講者数	1236人	1217人
申込者数	1721人	1984人

- ⑦ きりしまっ子立志育成事業において、下記プログラムを実施し、性別を超えた異年齢集団活動等を通して、協力すること、他人を思いやる気持ちの大切さを学んだ。 **(社会教育課)**

年 度	R3	R4
きりしま自然塾	20人	18人
科学体験in第一工大	100人	99人
立志塾	事業見直しのため休止	12人

- ⑧ GIGAスクール構想で整備した一人1台端末を有効に活用し、児童生徒がいつでも必要な時に活用できる体制を整備し、教育活動の充実につなげている。情報モラルやネットいじめ、ネットトラブルに関する情報を情報教育担当者会で周知し、情報機器の活用に関するルールづくりについて指導している。小中学校の情報教育を充実させるため、管理職研修会等で指導を行い、学校全体での共通理解と体制整備を行っている。 **(学校教育課)**

- ⑨ society5.0時代に向けて、情報弱者が発生しないよう、パソコンの基礎講座や文書作成ソフトや表計算ソフトの講座を実施した。講座の導入時には、これからの社会がどのようなものになるかを映像で見せ、学習の必要性を訴えた。溝辺、横川地区では出前講座を行い、メディアセンターに来所しづらい市民への学習機会を設けるとともに、個別の課題に応じた内容となるよう工夫した。

講座受講者には、LINEのオープンチャットへの加入を勧め、いつでも相談できるようにした。 **(メディアセンター)**

年 度	R 1	R 2	R 3	R 4
開催回数	41回	27回	27回	31回
参加者数	282人	249人	228人	130人

3 数値目標の推進状況

項目	現状値 (計画策定時)		現状値		目標値	
	数値	年度	数値	年度	数値	年度
子ども向けの男女共同参画講座の延べ実施数	6回	2016	26回	2022	30回	2022
男女共同参画に関する講座等を実施した 公立小中学校の割合	41.7%	2016	47.9%	2022	66.6%	2022
18歳以上で教育委員会主催の各種講座等に 申込をした者の割合	9.9%	2016	6.7%	2022	10.0%	2022